様式第７号の２（第８条関係）

2025年11月19日

（あて先）三鷹市議会議長

議員行政視察に係る結果報告書

会派名　立憲民主緑風会　　代表者名　岩見　大三

1　視察年月日	2025年11月12日（水）午前・午後　10時00分　～　午前・午後11時30分
2　視察者氏名	おばた和仁　　計　1　人 （同行者　中村ひろし都議会議員）
3　視察先	埼玉県さいたま市
4　視察項目	(1)小・中学校でのウォーターサーバー導入実態と課題等について
5　視察結果等	（１）　現在、さいたま市内の小学校５８校で各１台、４６校で各２台、また、中学校２２校で各１台、３５校で各２台の常温水型給水機（ウォータースタンド社製）を設置している。 （２）　導入コスト、毎月のメンテナンス費用は、環境協定を締結して全額ウォータースタンド社が負担しており、さいたま市の財政的負担はないが、そもそもの約束では、当初３年間だけ無償とのことであった。既に５年目を迎えてもなお無償となっているが、さいたま市としては、有償になっても引き続き導入を維持したい考え。 （３）　さいたま市が導入しているウォーターサーバーは、常温タイプであり、専らマイボトルの推進（環境対策）、浄水されたおいしい水（カルキ臭さがない）を飲めることに導入の意義を感じている。 （４）　衛生面も問題なく、概ね児童・生徒からも好評なので、仮に有償になったとしても、財政的な措置を取りたいとのことであった。また、常温タイプではなく、冷水タイプの希望もあり、そちらの導入も検討しているとのことであった。 （５）　設置場所は、職員室、保健室、体育館の前が多いとのことであった。

三鷹市議会
7.11.19
第 858 号
受付

	（6） 総括 実際に、小学校を視察したところ、かなり廊下が広く、また、常温タイプは薄型なので、消防法上も問題ないように思われ南浦小で指摘する設置場所に困ったことは無いとのことであった。視察で訪問するまでは熱中症対策の観点から冷水タイプのみを考えていたが、常温タイプも美味しく衛生的な水が飲めることから、検討の余地が十分あると感じた。三鷹市内小学校・中学校でのウォーターサーバー早期導入を目指して引き続き取り組んでいきたい。